

家庭でできるごみ減量

～3Rの実践～

発行：長浜市市民生活部環境保全課
TEL：0749-65-6513

長浜市におけるごみの量は、平成23年度で約37,700トンで、平成18年度の約42,400トンと比較すると、5年で約4,700トン（11%）減少しています。

このように、市民の皆さまのご協力のおかげで、ごみは減少傾向にありますが、まだまだごみの減量化につながる部分もたくさんあります。

次の世代に美しい長浜を引き継いでいくためには、今後も引き続き市民の皆さん1人ひとりの取り組みが大切です。

そこで、家庭で身近にできるごみの減量について、実践いただきたい『3R』の実践例をご紹介しますので、ぜひ皆さんもできることから実践してみましょう！

*3Rとは、ごみ減量の取り組みの3つポイントである『リデュース（Reduce）』・『リユース（Reuse）』・『リサイクル（Recycle）』の英単語の頭文字が『R』で始まっていることから『3R（スリーアール）』といわれています。



1. リデュース（Reduce）：ごみを減らすこと、出さないように工夫すること。

①買い物をするときは・・・

- 必要な分だけ買いましょう。
- シャンプーなどは詰替用を選びましょう。
- パック詰めよりバラ売りを選びましょう。
- 過剰包装は断りましょう。
- 使い捨て商品の利用を減らしましょう。
- マイバックを持って買い物に行きましょう。



②くらしの中では・・・

- 食べ残しをしないようにしましょう。
 - 食品の品質・期限表示をこまめにチェックしましょう。
 - 野菜などの食材はできるだけ無駄なく使い切るようにしましょう。
 - マイボトルを利用しましょう。
 - 生ごみの水キリを徹底しましょう。
- ※2ページ以降に生ごみ減量のための3つの“キリ”を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

2. リユース（Reuse）：繰り返し使うこと。

- ビールびん、牛乳びん、酒びんなどは、リターナブル容器を選びましょう。
 - 物は修理しながら大事に長く使いましょう。
 - 古着などはフリーマーケットに出店したり、知人へ譲るようにしましょう。
- ※不用品交換情報【環境保全課：65-6513】もご利用ください。（HP・広報にも掲載しています。）

3. リサイクル（Recycle）：再び資源として利用すること。

平成23年度に湖北広域行政事務センターが行った可燃ごみの組成調査によると、リサイクルできる生ごみ・紙類だけで、全体の約40%を占めており、紙類と生ごみを減量することが、ごみ減量の大きな近道となります。そこで・・・

- 生ごみについては、2ページ以降に掲載しております『3つの“キリ”』、『ダンボールコンポスト』などを利用し、できるかぎり生ごみの減量に努めましょう。
- ティッシュペーパーの箱、お菓子の箱、トイレトペーパーの芯などは、古紙（ダンボール）としてリサイクルできますので、資源ごみの日に出しましょう。
- 『こほくるーる』により、資源物とごみを正しく分別しましょう。

